

～職員紹介～

- 名前(クラス)
- こどものころ好きだったあそび
- 他の職員から一言

近所の公会堂の広場に行くと、いつもいろいろな学年のこどもたちが誰かしらいました。缶けりやゴムとびが大好きで、ここぞというときに、チャンスを伺いながら移動して缶を蹴ったり、大きい学年の背丈以上の高さのゴムを跳んだりするが何とも言えず爽快だったのをよく覚えています。  
松本 清美(やま)

学生時代はギター片手にコンサートの舞台上で歌っていました。その歌声はとても魅力的です。また、あるフォーク歌手のプチ追っかけをしているとか…?  
原谷 雅彦(やま)

# いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.31



令和2年度3月2日 発行  
いちょうの森こども園 園だより  
桜が丘東3-3-496  
TEL 086(956)2022  
FAX 086(956)2023



## 『思いを伝えられる環境づくりを』

今年は暖冬と言われていて梅の開花が早いようで、あちらこちらで見かけます。春はそこまでかき足でやってきているようですが、新たな感染症の広がり、今までにない対応を迫られそうです。穏やかな春が迎えられることを願わずにはられません。

今年度は「自分の気持ちを表現すること」を重点において取り組んできました。このテーマに基づいて、園だよりの巻頭言に載せてきました。いよいよ3月号となりました。

さて、難しい顔をしている人よりもここにこしている人の方が話しやすいのは大人でも同じです。3歳を超えるといけないことをした時、報告にやって来た子に何を聞いても長い間黙っているような場合は、「おこらないから話してごらん」と話しかけるとほとんどの子は話し始めます。それは「いけないことをした。叱られる。どうしよう」といけないことをしたことはわかっているけど、混乱してどうしたらいいのかわからないで困っているから黙っているケースが多いようです。どこから話していいのかわからない様子の場合は「何したのかな?」と具体的なことを聞くことから始めると、わりと話し始めます。「それはいいことかな?」と聞くと「ううん」と答えることがほとんどです。

そして一通り話を聞いた後、話したことを認めながらも、してほしくないことを端的に伝えた後、「お話はおしまい」と区切りを伝えます。するとほっとしたように笑顔(そう見えます)で帰っていきます。「ほんとにわかったのだから」とも思いますが、こどもってそんなものだと思います。1~2度でわかるなら苦労はしませんよね。こんなことを繰り返しながら成長していくもので、大事なことは「自分の言葉で伝える」その方法を教えることだと思っています。頭ごなしに力で押しさえすれば、影へ回って大人の見えないところでしょうとするのは当然の姿ではないでしょうか。まずこどもが話せるような雰囲気を作ることが大人の役割だと考えます。話を聞いてもらい、話したくなるような大人でいたいと思います。

原谷 雅彦



今年度園庭にたくさんの樹木が植樹されました。葉が落ちて寒そうだった苗木も、春を感じ芽吹いてきていることに先日気がつきました。今年は暖冬とはいえ寒い日もあり、春を待ち遠しく思っていました。もうすぐそこまで来ていますね。



## 園公開 R2. 2. 7 (金)

今年度は「いちょうの森の演奏会」をテーマにペアクラスを作り、手作りの楽器で音楽を楽しむ様子を見ていただきました。

どのクラスも、アイデアの詰まった楽器で音楽を表現することができました。またクラスを越えて異年齢児と関わる姿にこども園のいつもの様子が見ていただけたのではないかと考えています。



### 3月の予定

- 5日(木) そら組も給食となります。
- 6日(金) 誕生会
- 11日(水) 避難訓練
- 13日(金) 健脚、そら組熊山登山は中止です。お弁当をお願いします。
- 24日(火) 卒園式  
1号修了式・春季休業 25日~31日
- 30日(月)~31日(火) 自由登園

### 4月の予定

- 1日(水) 進級式
- 3日(金) 入園式
- 15日(水) 避難訓練
- 17日(金) 誕生会
- 24日(金) 健脚活動①

新年度の準備をします。ご都合のつかれる方は家庭保育をお願いします。

アルバムと一年間の作品を持ち帰ります。各自、大きめの紙袋に名前を書いて各クラスの担任まで持ってきてください。

# 1年間のまとめ

悔しい気持ちや葛藤を味わいながら、継続して何かをやり遂げられる力を持ってほしいとコマ回しにクラス全体で取り組んでいます。最初から回せた子はおらず、思うようにできずイライラしている毎日ですが、それでも諦めません。

同時にこっそり鍵盤ハーモニカもしています。こどもも大人も頭がいっぱいになりそうになることもあります。充実している日々がとても愛おしく感じます。

残りの時間を目一杯、楽しみたいです。

森 有梨花

## そら



一年が経つのはあっという間ですね。新しい学年が始まった時のことを昨日のように思い出します。4月当初は初めての環境の中涙が出る子が多くいましたが、今となっては「まだ遊ぶ！」と言ったり、他のクラスとの遊びを楽しんだりしています。また、進級したころはできなかったことができるようになってきました。本当にこどもの早い成長に驚かされる日々です。

友だちとの関わりを楽しむことを大切に一年を過ごしました。簡単な集団あそびを何度も遊んでいくうちにこども同士で行うようになり、いつの間にか友だちを意識し始めていました。一人で遊んでいる子に「〇〇してあそぼう」と誘うことも増え、あそびの中でこども同士で触れ合いや関わりを楽しんでおり、嬉しく思っています。

宮下 悠

## にじ



## ほし



『歌の好きなクラス』という思いで、一年を通して毎月2曲以上はうたを歌ってきました。年度初めは人前で歌うことが恥ずかしかったこどもたちも、今ではクラスで常に誰かが歌うたう声が聞こえてくるようになり、とても嬉しく思っています。

4月にはそら組になり、誕生会で毎月歌を披露するようになりますが、きっと自信を持って楽しい歌声をとどけられると思っています。

河合 比呂子

## ゆき



ゆき組になり、自分のことは自分でしたいというこどもたちの気持ちを大切にし、育てていきたいなと思い過ぎてきました。年度当初はなかなかうまくできなかったことも、ふとしたときに自分でできるようになっている姿に、成長したなと感じています。自分のことだけでなく、保育者と同じように「すごーい」と拍手をしている姿も見られます。友だちのことを気にしてあげられるようになったことにも喜びを感じます。

どちらの写真も鬼ごっこをしているところです。初めは逃げるだけ、追いかけるだけの鬼ごっこでしたが、だんだんとルールを理解することができ、今では『変わり鬼』や『増え鬼』をしています。中には役割の変化があることを理解しつつも、受け入れることができない姿もあります。しかし、自分で気持ちを切り替えて、遊びを再び楽しむことができるようになってきました。遊びの面でも気持ちの面でも、一年を通して強くなったこどもたちです。

岩本 かおり



## つき



保育者にべったりだったはな組の子たち、自分の好きなあそびをみつけて遊ぶ姿が増えてきました。全員が歩けるようになり行動範囲が広がりました。物の使い方も分かり、砂場へ行けばスコップでカップに砂を入れ、クレヨンを出せばお絵描きをして一年を通しての成長の早さを感じます。これからも、楽しいことを自分でみつけ出してたくさん遊んでほしいと思います。

實盛 智子

## はな

